

第 111 回

火山噴火予知連絡会資料

2008 年 10 月 8 日

東北大学大学院理学研究科

2001年ころから継続している傾斜・歪変動傾向が、今期も続いている。

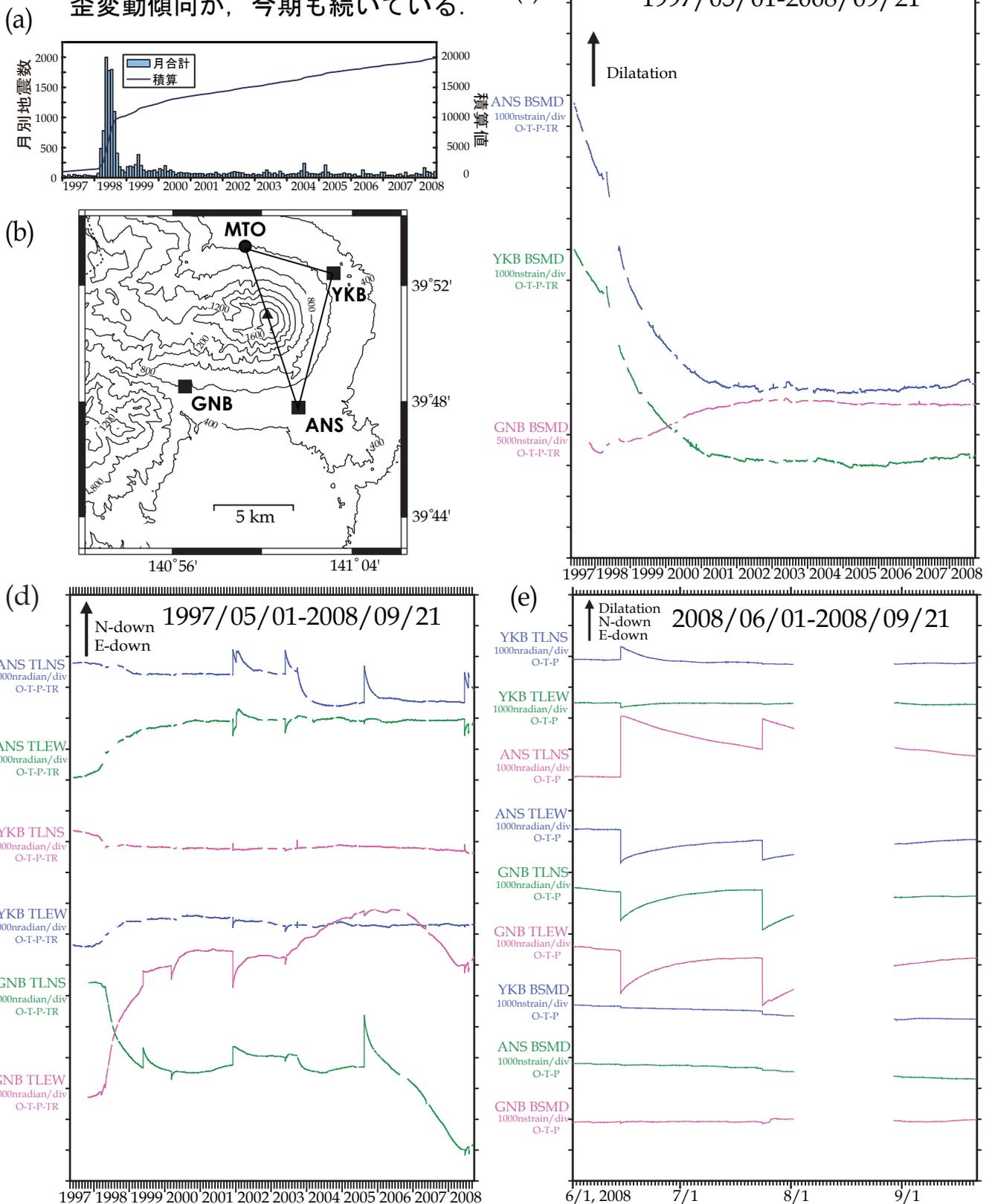


図 1. 岩手山周辺における歪・傾斜変動連続記録. (a) 月別地震数の変化(1997年1月～2008年8月), (b) 観測点配置, (c) 1997年5月1日～2008年9月21日における歪変動, (d) 傾斜変動, (e) 2008年6月1日～2008年9月21日の歪・傾斜変動. BSMD: 体積歪, TLNS: 傾斜南北成分, TLEW: 傾斜東西成分. (c), (d)は潮汐・気圧・トレンド補正済. (e)は潮汐・気圧のみ補正済. トビをとまなう変動は有感地震の影響あるいは雨の影響. 近年, 火山活動に関連した変動は認められない. 地形図の作成には国土地理院発行の数値地図を使用した.